

国立大学法人 山口大学



山口大学 学長 谷澤 幸生

山口大学 SDGs貢献の3つの柱

- 教育貢献:SDGsを推進する人材の育成
- 研究貢献:SDGs達成に資する研究の推進
- 国際・地域貢献:知のリソースを生かした国際・地域社会との協働

教育貢献:「総合的な探求の時間」での出前講義



「総合的な探求の時間」でSDGsを題材として扱う県内の高校において、出前講義を実施しています。

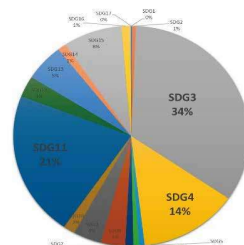
2024年9月11日に山口県立宇部中央高校において実施された出前講義では、生徒がグループ毎に、それぞれが選択したSDGsの各ゴールに関連した課題(問題意識)について、なぜその課題に着目したのか、また今後どのように探究活動を展開する予定か、等の点について発表を行い、担当した教員がコメントや指導を行いました。



山口大学と地方自治体の連携、政策立案に貢献する本学の教職員



山口大学は、SDGs貢献の一環として、地域課題の解決に向けた地方自治体との協働を推進し、多くの教職員が活動しています。SDGsのゴール別では、健康(目標3)、教育(目標4)、住環境(目標11)が多く、医学部、工学部、教育学部、経済学部を中心に貢献しています。地方自治体別では、山口県内の宇部市や山口市、下関市が主で、県外自治体や中央官庁の政策立案にも寄与しています。



貢献しているSDGsの割合

山口大学生が考案、設計した宇部新川駅多目的公衆トイレが完成！



山口大学大学院生の末田光さんと良田允さんが設計・施工監修に関わった宇部新川駅の多目的公衆トイレが、2023年12月に完成・利用開始しました。宇部市が市民の要望を受け、山口大学と連携して学生に設計アイデアを募集し、18作品から選ばれたものです。桃色れんがを用い視認性を重視したデザインが採用され、末田さんらは市や教員の支援を受け完成に至りました。また、隣接する駐輪場とベンチも2024年8月に完成し、市民から好評を得ています。



本学のSDGs貢献活動に対する評価

イギリスの高等教育専門誌(THE: Times Higher Education)による「THE大学インパクトランキング2024」において、山口大学は世界総合ランキングで401-600位(国内18位タイ)にランクインしました。同ランキングは、SDGsの枠組みをととして大学の社会貢献度をランキングするもので、2024年は、6回目となり、山口大学は初回から全て参加しています。項目別ランキングでは、コロナ禍におけるキャンパス内での食料供給と食に関する研究(SDG2)、特許数と産学連携研究収入(SDG9)、「SDGs報告書」による取組状況の発信や企業・自治体等と連携したSDGs関連イベントの実施(SDG17)などが高く評価されました。

